



山家神社社務所

<http://www.yamaga.or.jp>

〒386-2201 上田市真田町長 4473

TEL0268(72)5700

# 山家 慎聞

## 山家郷塾理念

一、自然の恵みと祖先の恩とに感謝し、日々お蔭さまの心を以て郷生の道を歩むこと

一、地域の歴史・文化・伝統を学び考へ今を照らし、故郷の振興と再生を図ること

一、永遠と続く歴史の中にある今を受け継いだモノを守り伝えること

## おがとつもち

神主として人の一生の最後にご奉仕させていただくことがあります（御祖神としてはじまり）。残された家族、むしろ葬儀に奉仕する私たちが麻痺しているのではと感じる部分が多くあります。今後お祭を重ねる事でそうならない為に、数年後の自分への誠めとして書かせていただきます。

お人柄を知りたい：神社にお越しの際に会話をし、定期的に新聞を届ける必要性を感じている。地元で伶人（雅楽）を育成し、負担少なく心の籠った祭儀を心掛ける。亡くなれば（帰幽）みな等しく神としてお祀りするため差は設けない。通夜、出棺火葬、葬場祭等手を抜かずしっかり奉仕し家族と共に見守る。祖霊社を設け御霊祭（年祭）等共有し使用できる場を提供する。人の生活が様変わりする中最も大切な心を尊び守るため変えるべきところは変え、守べきところは守っていきます。

## 真田の仕掛け

「五加の燈籠か真田の仕掛け」

地元の方でもこの言葉、ご存知でしょうか？

○九月十六日（土）午後七時～午後九時頃 宵祭

○九月十七日（日）午前8時～ 愛宕神社

今年も行われる右の祭事は愛宕神社を始め末社すべての祭事で明治三十年頃までは五年目毎に仕掛け花火があげられたほど盛んであったと云います。規模は縮小したにせよ、今もこうして地域でお祭が続けられているからこそ、こうして掘り起こすこともできます。生きる喜び、生きていく有難さに手を合わせ、先祖代々通った祭にまた足を運んでみませんか？子供の頃から大好きな面神楽、ありますよ。

末社の燈籠を担いでの練込み、神社本殿から一直線に一の鳥居までを見ることが出来ます。

この光景は「千と千尋の神隠し」の神様の行列のようで、中にある時はわかりませんが、俯瞰といえますか、神様から見た時に素晴らしい姿で現れます。

☆宵祭には子供たちの画で参道を照らします

☆手作り工房結

駄菓子

光グッズ

☆風屋とうふ店

おとうふ



## 面神楽

## 幸せ照らす



## 雁金をどり



テレビで地元が取り上げられることは嬉しいことです。特に昨年の大河ドラマ『真田丸』地域を見直すきっかけになったのではないのでしょうか？故郷再発見！私が特に印象に残っているのは、角間の人が上田城から見る風景をみて、「おれらの角間の山が映った！」と感動して報告にきてくれた事です。

地元の人以外誰がわかるの？気付かない人の方が多いいのでは？正にその通りなのですが、それでもふるさとの景色を使ってくれた：その一つで安心してリアルタイムでは見なくなりました。これは無理な言い訳ですかね：それでもお宮に集まる方が皆話をしてくれるので内容はおおむねわかっていました。

八月の真田まつりに長野里美さまと作詞作曲をされた友吉鶴心さまにより『雁金をどり』が山家神社に奉納されました。どの地域にも慶弔さまさま、祝いの唄、しのび唄、または田植え唄など存在していたものが今に伝わらなくなってしまうものは、往時の形に復元する事ができません。ですがこうして現代に呼び戻してくれたことが嬉しく、山家雅楽会とひもろぎ会（地元小学生）で練習を重ね、生演奏のもと神前で奉奏することができました。

上田市とNHKさんによるものではありませんが、「まずは山家神社に」とのお話があった為、真田丸放映の感謝を込め頼まれもせず演奏しました。地元の子も踊り、地元の人が演奏した。この土台があったこそ、飛ばたいいけないと思つた次第です。

真田太平記に続き真田丸も「昔真田だつてそれは賑やかになつたんだよ」と語り伝ぎたいものです。

神人和楽  
郷土と共に